



5月の園だより

令和8年5月1日

水巻第一保育所

新年度のスタートから早くも1カ月が経ちました。子どもたちも新しい生活に慣れてきたようで、毎日元気いっぱい、泣いたり笑ったりしながら過ごしています。

過ごしやすい季節ではありますが、日によってはじりじりと日差しが照り付ける真夏のような時もあります。子どもたちの健康状態にも注意しながら、安心して遊び込める環境を作っていきたいと思えます。

行事予定

1日(金)	こどもの日会
12日(火)	検尿(1次)
20日(水)	合同避難訓練(消防署来所)
21日(木)	誕生日会
26日(火)	検尿(2次)



～衛生の基本『手洗いの習慣』をしっかり身につけましょう！～

手洗いの順番

- ① 石鹸をよく泡立てて、手のひらをこすります。
- ② 手の甲をこすります。
- ③ 指先と爪の間をこすります。
- ④ 両手の指を組み、指の間を洗います。
- ⑤ 親指を反対の手で握り、ねじり洗いをします。
- ⑥ 手首を握って洗います。
- ⑦ 水で泡を流し、ペーパータオルや清潔なタオルでふきます。



手洗いの効果

細菌やウイルスは、手を介して口や鼻などから人の体内に侵入して感染します。それを防ぐには、手洗いがもっとも効果的です。**手洗いをしないと手についたウイルス数は約100万個**であるのに対し、**水だけで15秒洗うと約1万個に減りました。石鹸で60秒洗い、流水で15秒すすいだ場合は数十個に現象しました。10秒洗い、15秒流水ですぐを2回繰り返した場合には、約数個まで減少しました。**

子どもたちに、手洗いの大切さを伝えましょう。

噛むことの大切さ

噛む能力は、人間が生きるための土台です。噛むことで身体や心が育ち、日々を楽しく健康に過ごすことができます。

【噛むことが全身の育ちを支える】

噛むことは、食べる能力に関わるだけでなく、体と心の発育の土台になります。そしてそれが、子どもたち一人ひとりの健康で楽しい暮らしに結びついていきます。

噛む力の習得と習慣化

「噛む習慣」によって、心や体の発達が相互に促され、生涯を支える健康な体と心を培います。



離乳食初期からの

ていねいな観察と支援

離乳食初期からの口腔発達に一人ひとり丁寧に寄り添い、支援しながら関わることで「噛む」力が養われます。

※「食べる力」の発達入門より

※メイトブックス

保護者の皆さんには、毎日のアプリでの連絡で、お子さんの検温と朝食の記入のご協力を頂きありがとうございます。

子どもたちにとって、この2つは家庭から離れて保育園で一日過ごすための、健康のバロメーターであり、元気の源となります。

忙しい朝の時間ではありますが、お子さんが一日心地よく過ごせるよう、そして保護者の皆さんが、安心してお子さんを送り出すことができる為にも、今後もこの2点のご協力をお願いしたいと思います。